

水環境再生工学研究室(黒田研究室)

●どんな研究をしているの？

水田の脱窒作用を利用した窒素浄化
農地の窒素流出機構の解明(農地の蓄積窒素問題)
里山の水環境保全活動支援
霞ヶ浦などの湖沼水質保全計画作成

●キーワード:

霞ヶ浦、閉鎖性水域、水質、水質浄化、脱窒作用、蓄積窒素、流域管理、Diffuse Pollution(非特定汚染源対策・面源)、里山、水資源、水循環、水文学

霞ヶ浦などの富栄養化対策として、農地からの窒素流出を減らすために農地に蓄積された窒素について調べます。そして農業地域の中で水田を用いて水質浄化を行い、農業系の汚染を減らします。流域の水資源の健全化を調べるために里山で水循環を調べています。

●教員からのメッセージ

霞ヶ浦などの富栄養化問題をひもとくと最後は食料問題に行き当たります。食料を作るときと食べることが富栄養化の大きな原因の一つだからです。食料問題と環境問題を同時に解決することは大変難しい問題です。しかし問題を解決しないわけにはいきません。環境問題の解決策は、現地調査の中からアイデアが生まれてくることが多くあります。アウトドアの調査を主に行っていますので、一緒に調査に行き、生の環境問題に触れてみませんか。



霞ヶ浦の水質を改善しましょう



里山の水環境を再生しましょう